

第14回 埼玉県競輪事業検討委員会 資料1

「埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について」

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1 県営競輪の開催状況

- 大宮双輪場(さいたま市)・西武園競輪場(所沢市)の2か所で競輪を開催している。

大宮双輪場

- ・昭和24年1月開設
- ・埼玉県(都市整備部)が所有
- ・使用料 1.4億円(R6)
- ・照明設備なし、ナイター・ミッドナイト開催不可
- ・東日本で初めて競輪開催



西武園競輪場

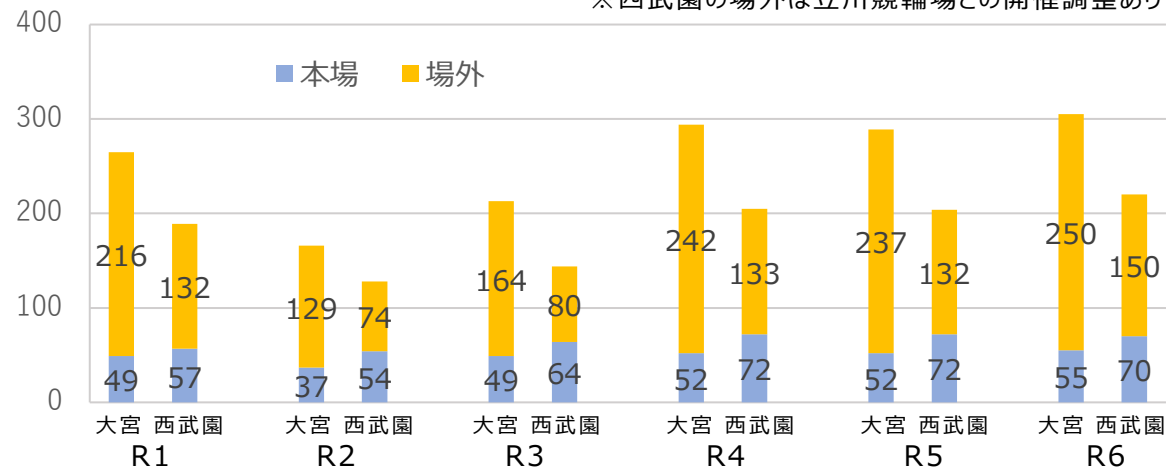
- ・昭和25年5月開設
- ・西武レクリエーション(株)から賃借
- ・使用料 4.5億円(R6)
- ・平成28年度、本県が移動照明車を購入。ナイター・ミッドナイト開催可能。
- ・令和4・5年度にG Iを開催



- 開催日数のうち、本場開催は、大宮が55日/年・西武園が70日/年程度で照明設備のある西武園の方が多い。

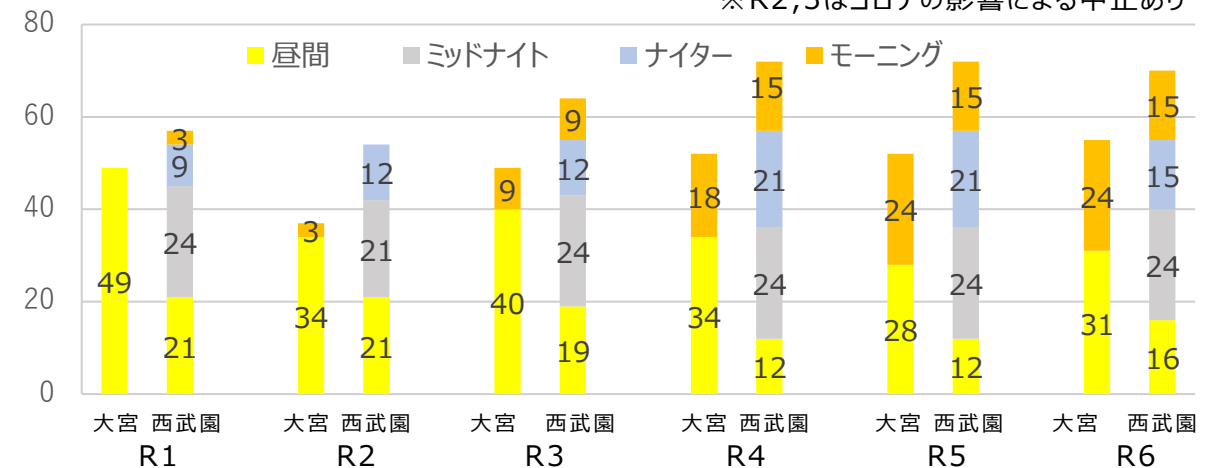
○開催日数の推移

※西武園の場外は立川競輪場との開催調整あり



○開催形態(本場)の推移

※R2,3はコロナの影響による中止あり

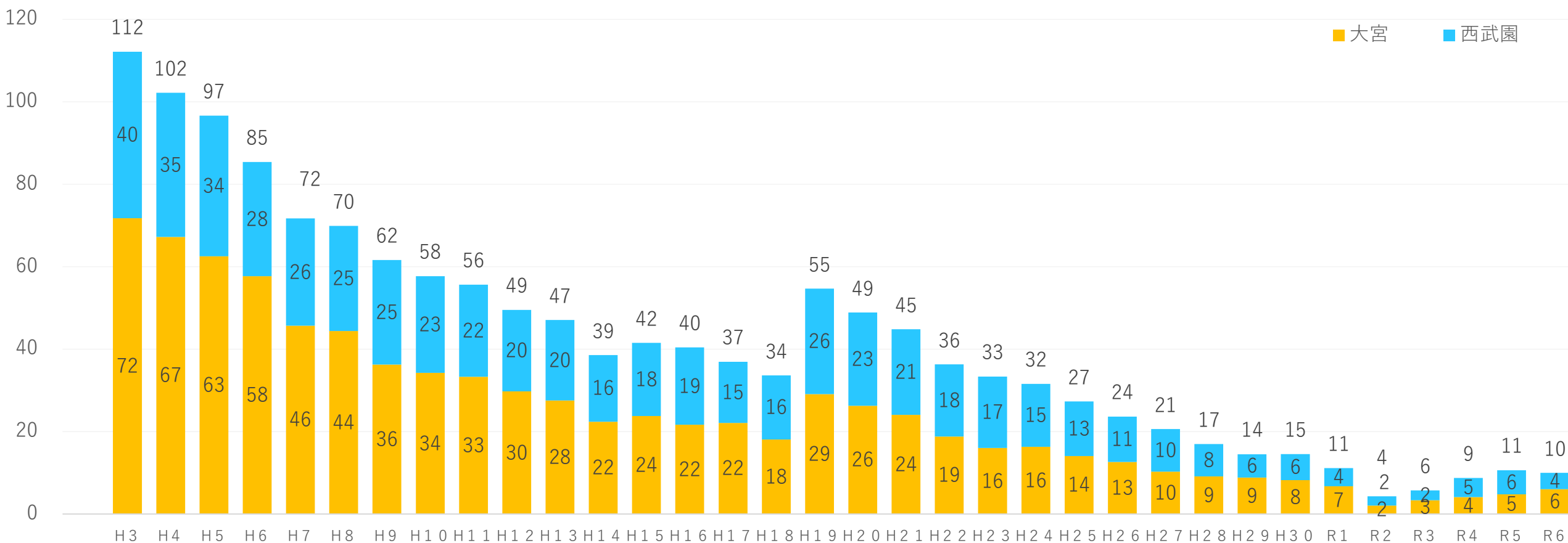


埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 本場開催時の入場者数の推移

- 令和6年度の入場者数は、西武園でのG I 開催が無くなった影響もあり、令和5年度と比較して約1万人減少した約10万人。
- 県営競輪の売上ピークである平成3年度の入場者数と比較すると、令和6年度の入場者数は▲91%となっている。

(単位：万人)

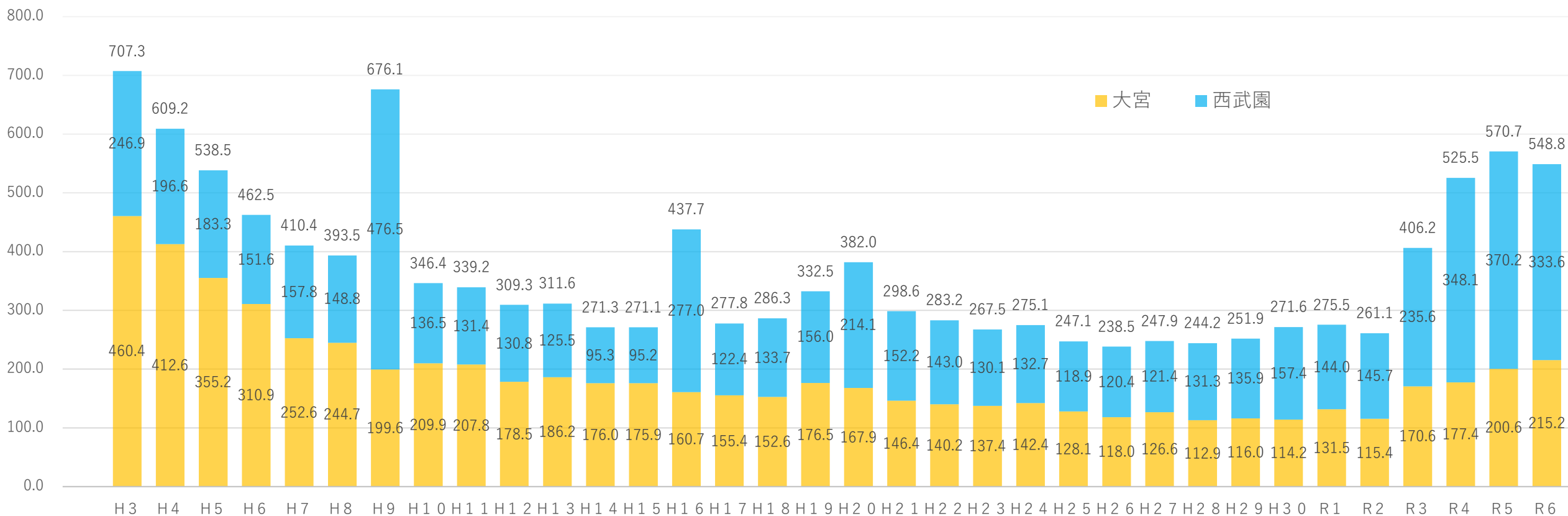


※平成19年度から6市(さいたま市、川口市、熊谷市、川越市、所沢市、行田市)の開催を県が引き継いだ。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3 本場売上の推移

- 令和6年度の本場売上は549億円となり、GI開催がなかったものの、好調なインターネット投票を背景に売上が伸長した。
なお、前年度比▲22億円（3.8%減）であったが、前年度のGI開催分を除くと、+55億円（12.5%増）となった。
 - 売上は平成3年度(707億円)をピークに減少。平成26年度(239億円)を底に反転し、近年は著しい増加傾向である。
- (単位：億円)



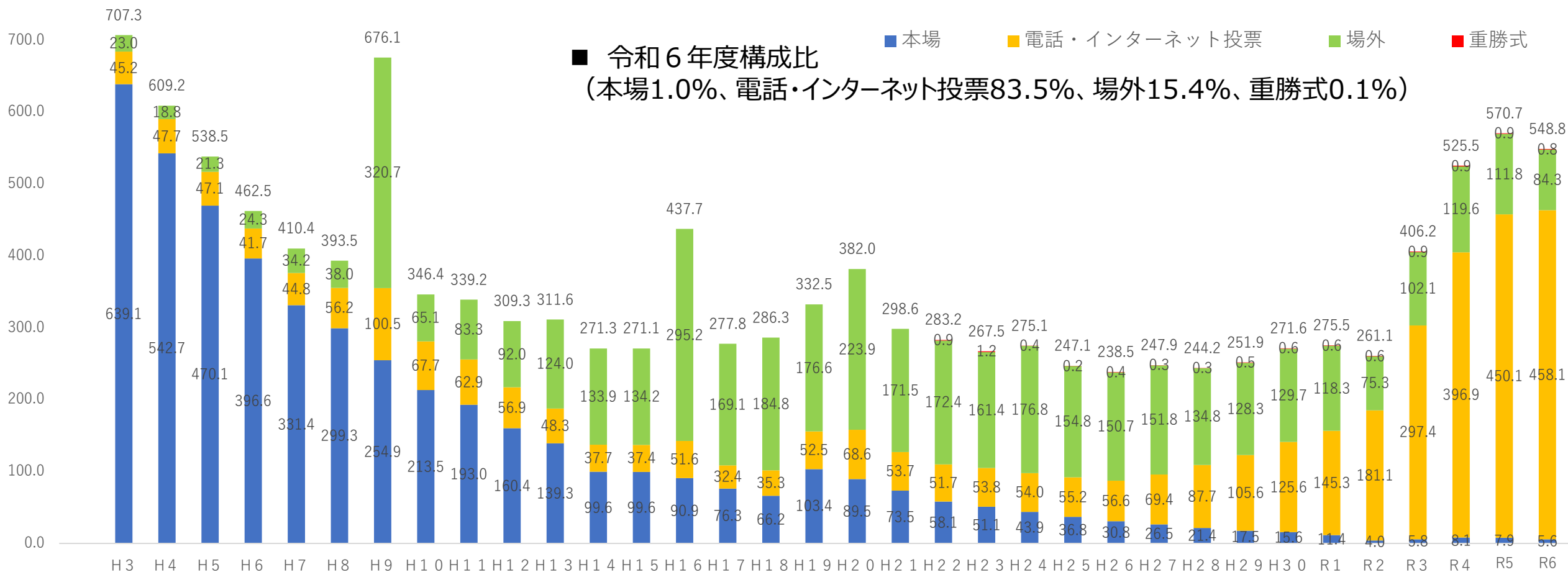
※H9,H16,H20,R4,R5は西武園でGI開催。R2はコロナの影響で6開催中止。 ※売上には5重勝式、Dokanto!は含まない。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

4 チャネル別売上の推移（２場）

- 令和６年度のチャネル別売上は、電話・インターネット投票が約８４％を占めている。
- 場外は前年度比減であるが、電話・インターネット投票が前年度比４．６ポイント増と引き続き伸びている。

（単位：億円）

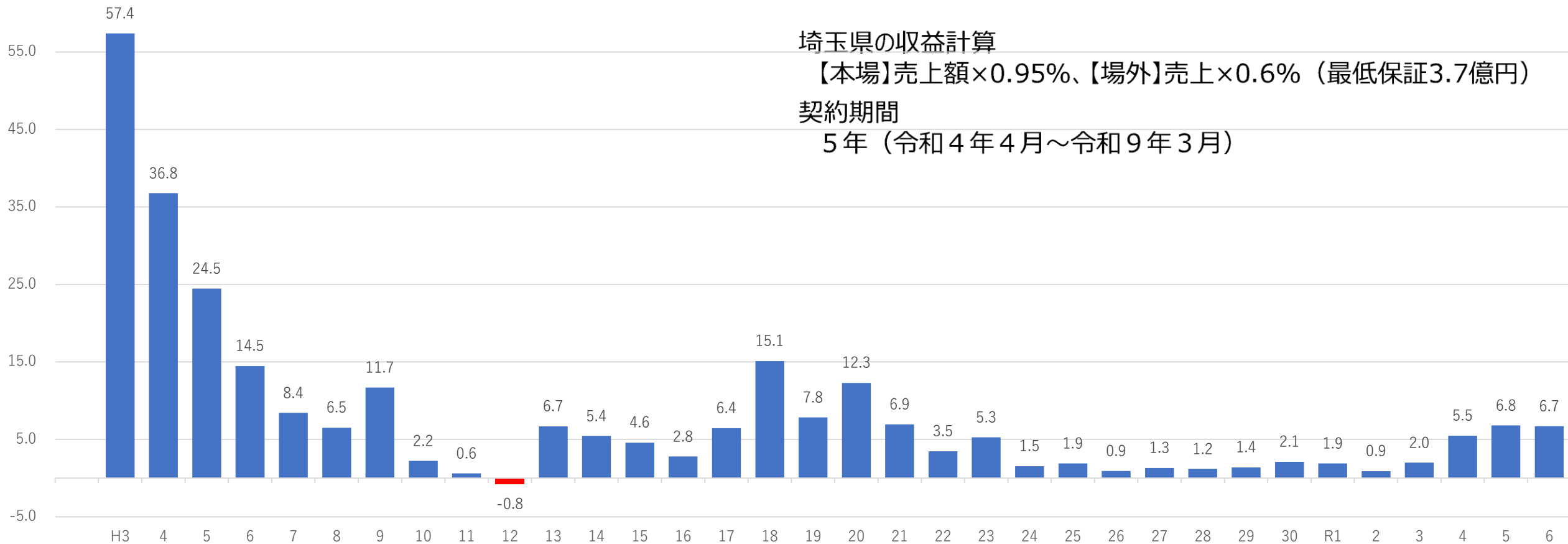


埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

5 競輪事業収益の推移

- 令和6年度の収益は、好調な売上を背景に6.7億円となった。
- 平成2年度の57.6億円をピークに減少傾向で近年は2億円を下回る状況が続いていたが、令和4年度から新たな包括業務委託契約の締結やG I開催による売上増加などにより、県収益は改善傾向にある。

(単位：億円)



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

6 令和7年度の売上見込等について

- 令和7年度については、各競輪場で原則年1回開催される記念競輪（GⅢ）に加え、西武園競輪場でGⅢナイターを開催する予定である。
- これに加え、電話・インターネット投票が引き続き好調であると想定し、合計で620億円程度（R6実績+13.1%）の売上を見込んでいる。

OR7売上・収益の見込み及び上半期の実績（単位：億円）

	大宮	西武園
売上（見込み） （上半期実績）	230.5 (100.8)	390.3 (145.7)
県計（見込み） （上半期実績）	620.8 (246.4)	
県収益	6.0	

※10/1時点では、年間の売上見込みを4.9%上回っている。

OR7開催種別・日数（予定）

	大宮	西武園
昼間（予定） （上半期実績）	28日※うちGⅢ4日 (12日※10/1分含む)	15日 (6日)
ナイター（予定） （上半期実績）	0日 (0日)	14日※うちGⅢ8日 (4日※うちGⅢ4日)
モーニング（予定） （上半期実績）	30日 (15日)	21日 (12日)
ミッドナイト（予定） （上半期実績）	0日 (0日)	21日 (6日)
合計（予定） （上半期実績）	58日 (27日)	71日 (28日)

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

7 課題に対する取組

- 埼玉県競輪事業検討委員会の報告書「県営競輪の現状と課題」で示された課題への対応策に取り組んでいる。
- 太字の項目について、次ページ以降で説明。

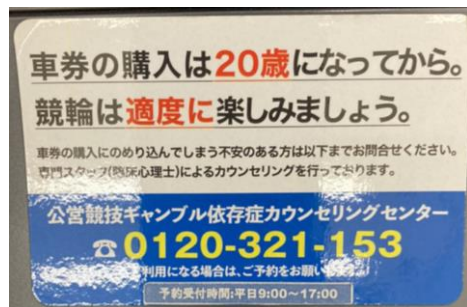
	課題	対応策	
1	県収益の向上	①売上が見込めるレースの誘致 ③西武園の受託場外発売の開催調整の再検討 ⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実	②投資効果を考えた集中的な投資 ④大宮、西武園の車券を販売する場外車券売場の増加
2	競輪事業の活性化	①一般入場料の無料化 ③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催 ⑤競輪を楽しめる演出の実施 ⑦地元を拠点としたエンターテインメント企業との連携 ⑨他団体との連携 ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化	②競輪初心者向けのイベント、演出の実施 ④競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致 ⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討 ⑧スポーツ・バーと連携したネット車券販売の展開 ⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施
3	イメージアップ	①スポーツとしての競輪の魅力発信 ③社会貢献のアピールの継続的な実施 ⑤Jリーグのブランディングの研究	②自転車競技の普及に向けた取組の充実 ④目的、方向性を掲げた事業の実施

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1－⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実

■ 取組内容

- すべての投票機に注意を促すステッカー「車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。」を貼付。
- 場内モニターやポスター及び場内放送において注意喚起や相談窓口の周知などを実施。
- 「埼玉県ギャンブル依存症専門会議」に構成員として参画し、関係者と情報共有を実施。また、同会議で制作したオリジナルの啓発カードを配布。
- 県の規則に基づき、ギャンブル依存に係る相談のあった1名に対し、競輪場等への入場禁止措置を実施（本人からの申し出による）。※令和7年度上期実績：1名、本人からの申し出による。



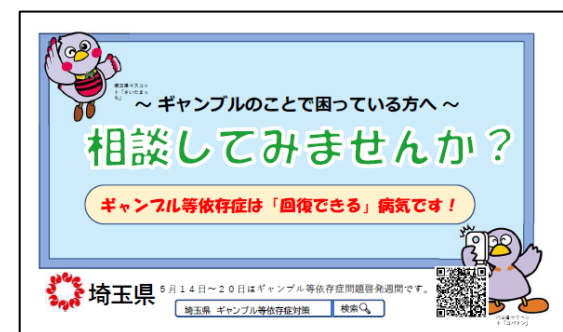
～投票機への注意喚起標語ステッカーの掲載～



～場内モニター表示～



～啓発カードの配布～



■ 今後の展開

- 業界と足並みを揃えて周知啓発や相談対応を実施し、必要に応じて入場禁止措置を含めて対応する。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ② 競輪初心者向けのイベント、演出の実施

(1) SNSアカウント(栃崎KEIRIN'S)の運営による初心者向けのプロモーション

■ 取組内容

- 県と宇都宮市が連携し、初心者やネットユーザーをリアルな競輪場に呼び込む目的で実施。
- 太田りゆ選手や平原康多選手といった人気選手出演のYouTubeライブ配信を実施（10回）。このほか初心者も楽しめるショート動画（118本）、選手に密着した動画（26本）を作成
※発信本数は、埼玉県と宇都宮市の合計

■ 今後の展開

- 引き続き、様々なコンテンツを製作・配信し、新たなファンの獲得を図る。
《目標:令和7年度にYouTubeライブ2回・動画製作60本実施》
※令和7年度上期実績: YouTubeライブ1回・動画製作64本

(2) 西武園記念競輪(GⅢ)、大宮記念競輪(GⅢ)の地元選手応援スタンド

■ 取組内容

- 両競輪場の記念競輪(GⅢ)において、地元選手出走時に選手を応援する「埼玉応援スタンド」を設置。

■ 今後の展開

- 競輪場に初めて来たファンがシンプルに楽しめるイベントを展開。

《目標:西武園記念競輪、大宮記念競輪において展開》

※令和7年度上期実績: 西武園記念競輪で「同担シート」を設置し地元選手応援イベントを開催

(3) 初心者ガイダンスの充実

■ 取組内容

- 本場開催時にブースを設置し、競輪のいろはから車券購入までレクチャーを実施。
R6年度は、大宮で2回、西武園で4回実施し、延べ254名が参加。

■ 今後の展開

- 定期的実施し、新規競輪ファンの拡大を図る。

《目標:大宮・西武園で各1回以上実施》 ※令和7年度上期実績: 大宮1回、西武園5回



～西武園記念競輪「同担シート」～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催

■ 取組内容

- 障害者アートのパネル展示を継続。（場内の壁面に常設展示）
- 場内施設の利活用と美観向上、障害者アーティストの活動支援や社会的認知の促進を目的とし、「大宮競輪Heartfulアート2024」として、新たなパネル展示作品を募集、展示。
 - 1 募集作品のテーマ
「競輪」または「居心地の良い場所」
 - 2 募集期間
令和6年9月1日から11月8日まで
 - 3 展示
最優秀作品1点、優秀作品5点を採用し、
令和7年1月16日よりパネル展示
- 大宮記念競輪(GⅢ)のステージイベントとして、優秀作品を手掛けた6名のアーティストに対し表彰式を実施。（令和7年1月17日）

■ 今後の展開

- 令和7年度に新たなパネル展示を実施(4月1日より公募開始)するとともに、その後も継続的な取組を実施していく。
※令和7年度上期実績：大宮競輪Heartfulアート2025を開催し、9月下旬からパネル展示開始、10月1日表彰式実施



～パネル展示（R6年度優秀作品）～



～パネル展示（R7年度優秀作品）～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ④ 競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致

(1) テーマを設定したグルメ祭り“肉祭”の開催

■取組内容

- 埼玉県と宇都宮市の連携を活かし、“肉祭”を開催した。【1/18(土)-19(日)@大宮双輪場】
- 栃木県内で肉を軸としたメニューを手掛け高い知名度や人気を誇る店舗を誘致し、この日だけの限定メニューも提供した。SNSやWEB、チラシ・ポスターなどによる広報の充実を図り、2日間の合計で概ね1,750人が肉祭の店舗を利用した。

■ 今後の展開

- 令和7年度もテーマを設定したグルメ祭りを開催することで、多くの集客を図り、来場者の満足度向上を実現していく。

《目標:令和7年度の大宮記念競輪(GⅢ)において開催》

※令和7年度上期実績:西武園記念競輪(GⅢ)1回(8月)



(2) キッチンカーグルメ“丼-Donburi- NO.1決定戦”の開催

■ 取組内容

- 県農業ビジネス支援課と連携し、キッチンカー6店舗による“丼-Donburi- NO.1決定戦”を開催した。【4/27(土)-29(月・祝)@大宮双輪場】
- キッチンカーやドリンクブースをスタンプポイントとするスタンプラリーも同時開催し、家族連れや若者など多様な客層が飲食を楽しんだ。

■ 今後の展開

- 令和7年度も多くの集客が見込める開催日にグルメイベントを開催し、競輪以外のレジャー価値を提供していく。

《目標:上記(1)以外で年1回以上の開催》 ※令和7年度上期実績:西武園1回(5月)、大宮1回(7月)

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ⑤競輪を楽しめる演出の実施

■ 取組内容

- 西武園記念競輪(GⅢ)及び大宮記念競輪(GⅢ)において、地元選手出走時に選手を応援する「埼玉応援スタンド」を設置。スティックバルーンを配布し、一体感のある応援で開催を盛り上げた。【再掲】
- 大宮記念競輪最終日にバンク内観戦を実施。15名が参加し、選手のスピード感や迫力、そしてレース展開を間近で体感した。
- 大宮記念競輪最終日に競輪体験アトラクション「超低速電動自転車2mDASH！」を通じて選手と交流するイベントを実施。20名が参加し、太田りゆ選手とタイムを競い競輪選手の凄さを肌で感じるとともに、競輪（自転車競走）を楽しんだ。



～選手応援スタンド（大宮記念競輪）～



～バンク内観戦（大宮記念競輪）～



～太田りゆ選手と2mDASH！（大宮記念競輪）～

■ 今後の展開

- 来場者や視聴者が自転車競走やレース観戦を楽しめる取組を継続していく。《目標:西武園記念競輪、大宮記念競輪で展開》
※令和7年度上期実績：西武園記念競輪で「同担シート」を設置し地元選手応援イベントを開催

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討

■ 取組内容

- 令和6年6月に、西武園競輪場において1法人の団体利用を受入れた。
- 県営競輪事業の説明に加え、選手会埼玉支部長によるレース映像や競技用自転車等を用いた競輪の説明、競輪解説者による出走表・予想紙の見方や予想ガイダンスを実施した。
- 参加者からは大変好評で「競輪を理解した上で競輪観戦ができたことでとても有意義であった」「また次回も開催して欲しい」との感想をいただいた。

■ 今後の展開

- 団体利用を積極的に受け入れ、団体の属性に応じたサービスを提供し、利用者満足度の向上や新規競輪ファンの養成を図る。
《目標:年1回以上の団体受入の実施》 ※令和7年度上期実績：西武園1回(8月)、大宮1回(9月)
- 団体客の受け入れを通じて利用者ニーズを分析し、BOX席設置の検討を進めていく。



2 - ⑨他団体との連携

■ 取組内容

- 県青少年課と連携し、令和6年10月に「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車教室」を開催した。同教室の周知は、県内すべての小学校に配布される職業体験教室のチラシで行った。
- 令和7年1月の大宮記念競輪(GⅢ)開催時に、埼玉県高等学校体育連盟自転車専門部と連携し、「第5回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を開催した。



～自転車教室～
競技用自転車の構造を説明



～自転車教室～
練習用室内バイクを体験



～埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯～
レース風景



～埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯～
表彰式

■ 今後の展開

- 職業体験教室を継続し、競輪の認知度向上を図るとともに、子供達の職業体験の機会を提供する。
- 選抜ケイリンを継続し、自転車競技を行う高校生アスリートの活動支援を行う。

《目標:両取組を年1回以上実施》

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2-⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施

選手会から「競輪の魅力を伝えることができる機会があれば協力したい」との話を受け、各種イベント等において、現役選手が直接競輪の魅力を伝える取組を実施した。

■ 取組内容

- 小学生向けの職業体験教室「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車教室」を実施。【再掲】
- 西武園記念競輪(GⅢ)・大宮記念競輪(GⅢ)の選手会ブース出展やファンサービスイベントを実施。
- 社会貢献及び障害者アートの創作活動支援のため、大宮双輪場において障害者施設の見学会受入を実施。
- 春まつり、水合戦、納涼祭などの場内イベントや商業施設等のブース出展に選手が参加。
- 栃埼KEIRIN'Sによる初心者、ネットユーザー向けのYouTube動画配信を実施。【再掲】

■ 今後の展開

- 今後も、選手との対話を続け、魅力的な取組を展開していく。

※令和7年度上期実績：障害者アートに関する大宮双輪場見学会を実施(4月)、競輪開催時に選手会ブースを出展(8月)、選手会によるチャリティーオークションを開催(8月)



～西武園記念競輪チャリティーオークション～



～大宮双輪場 障害者施設見学会～



～大宮双輪場 水合戦～



～イオンレイクタウン出展～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化

(1) 公園周遊イベント“謎解き宝探しラリー in 大宮公園”の開催

■ 取組内容

- 大宮双輪場をメイン会場とし、大宮公園内（動物園やボート池）をスポットとして周遊する“謎解き宝探しラリー in 大宮公園”を開催。【1/18(土)-19(日)@大宮双輪場・大宮公園】
- SNSやWEB、チラシ・ポスターなどによる広報の充実を図り、2日間の合計で1,006人が参加。
- 場内（公園内）周遊を通じて「双輪場には初めて入ったが、家族連れでも安心できた」といった声をいただいた。

■ 今後の展開

- 大宮公園と一体化した周遊イベント等を開催することで、双輪場及び大宮公園のレジャー価値向上を図る。
《目標:令和7年度の大宮記念競輪(GⅢ)において開催》



(2) スポーツイベント“NACK5チームラン”の開催

■ 取組内容

- NACK5が主催する「第7回NACK5チームランin大宮公園」のメイン会場として大宮双輪場を提供。【2/11(火・祝)@大宮双輪場】
- 場内にキッチンカー出店や自転車体験ブース出展を行うとともに、公園内で行われたグルメ・スポーツイベントとスタンプラリーで連携。
- 来園者の相互交流や公園内周遊を促進し、双輪場内には6,501人が来場。

■ 今後の展開

- 公園内施設・運営者が一体となってイベントを開催し、来園者のレジャー価値向上を図る。《目標:令和7年度も継続して開催》

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3－①スポーツとしての競輪の魅力発信

3－②自転車競技の普及に向けた取組の充実

高校生による選抜レース、バンクの自転車走行体験などを実施し、幅広い層にスポーツ・自転車競技としての競輪の魅力を訴求した。

■ 取組内容

- 【大 宮】大宮記念競輪(GⅢ)で「第5回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を開催。【再掲】
- 【大 宮】大宮記念競輪で太田りゆ選手が来場者参加型のイベントに出演し、自転車競走の魅力を訴求。【再掲】
- 【大 宮】大宮双輪場内に子供向けパンプトラック「OMIYA キッズバイク PARK」をオープン。
- 【西武園】小学生向けの職業体験教室「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車教室」を実施。【再掲】
- 【西武園】納涼祭において、バンクウォーク・自転車体験走行を実施。
- さいたま市内のイベント（クリテリウムサイクルフェスタ、SUPER KIDS FESTA）や、大宮アルディージャファンフェスティバル、商業施設（イオンレイクタウン、イオン大宮、イオンモール与野）などに競輪体験アトラクションを出展。
- SNS（栃埼KEIRIN'S）において競輪の魅力を随時発信。【再掲】

■ 今後の展開

- スポーツ・自転車競技としての競輪の魅力を発信を継続していくとともに、他のプロスポーツと連携した取組を模索していく。
《目標:令和7年度も各取組を継続して実施》 ※令和7年度上期実績：大宮双輪場バンク内芝生エリアで野球・サッカー教室を開催(9月)



～ OMIYA キッズバイク PARK ～



～超低速電動自転車 2 m DASH！～



～栃埼KEIRIN'S YouTubeライブ～



～大宮双輪場バンク内 野球教室～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3－③社会貢献のアピールの継続的な実施

(1) “大宮競輪Heartfulアート2024”の展示

■ 取組内容

- 新たなパネル展示作品を募集し、1/16(木)に公開。【再掲】
- 採用作品のアーティスト6名に対しては、1/17(金)に表彰式を実施。【再掲】
- アーティストの創作活動支援や競輪場の地域開放を目的として、大宮双輪場の見学会を開催。
2施設・21名が参加し、選手会の全面協力の下、バンクウォーク、トレーニング実演などを実施。【10/3(木)】

■ 今後の展開

- 令和7年度も障害者アーティストの活動支援等を継続。《目標:“大宮競輪Heartfulアート2025”の展示や表彰式の実施
※令和7年度上期実績: 10月1日に「大宮競輪Heartfulアート2025の表彰式を実施



(2) 多様な主体との共栄をテーマとする取組の展開

■ 取組内容

- 西武園記念競輪(GⅢ)・大宮記念競輪(GⅢ)において、県庁朝市の会の出張販売を実施し、県産品のPRと販売を促進。
【4/20(土)-21日@西武園競輪場、1/18(土)-19(日)@大宮双輪場】
- 障害者団体による屋台出店、障害者バンド「いいもんズ」によるミュージックライブを実施し、各事業者の活動をPR。
【6/8(土)、1/18(土)-19(日)@大宮双輪場】

■ 今後の展開

- 令和7年度も県内事業者のPRと開催の盛り上げにつながるWIN-WINの取組を継続。

《目標:大宮・西武園の両場で年1回以上の開催》

※令和7年度上期実績: 西武園記念競輪において地元グルメをPR 例: 豚肉加工品、狭山茶ハイ、地ビール、東松山やきとり

